



2023年2月10日

各位

会社名 ステラファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 上原 幸樹
(コード番号: 4888 東証グロース)
問合せ先 執行役員総務部長 小川 礼隆
(TEL 06-4707-1516)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月10日に公表いたしました、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期の業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	192	△948	△933	△936	△32.64
今回修正予想 (B)	220	△850	△820	△823	△28.55
増減額 (B - A)	28	98	113	113	
増減率 (%)	14.6	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	100	△741	△764	△767	△27.34

修正の理由

売上高に関しましては、新型コロナウイルス感染症に対応するための政府による大規模な行動制限の発出がなされなかったことや、同感染症に対するワクチン接種の普及により移動の自由度が改善したこと、BNCTに係る医療の受診控えの影響が限定的となりました。さらに各種学会での情報発信などを通じたマーケティング活動を強化したことにより、BNCTに対する認知度が一定程度浸透するとともに、医療機関への集患力も向上したことからBNCTの実施症例数は前回発表予想と比較し好調に推移いたしました。

結果、売上高は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、当社の業績指標であります当社製品の消費換算数量（累計）（注1）につきましては、前回発表予想では99箱を見込んでおりましたが、今回の業績予想の修正により、117箱を見込んでおります（前年実績72箱）。

損益面に関しましては、上記の要因により売上総利益が増加したことに加え、事業計画の進捗状況を再評価し、経費削減を徹底した結果、営業損失は当初予想を98百万円改善する見込みとなりました。

また2022年11月9日に「受取手数料（営業外収益）の計上に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、営業外収益25百万円を計上するとともに、2022年12月14日に「第三者割当による第4回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及びファシリティ契約（行使停止指定条項付）の締結に関するお知

らせ」にて公表しましたとおり、新株予約権発行に係る費用 6 百万円と追加的に発生する登録免許税等 3 百万円の発生を見込んでおります。

結果、経常損失および当期純損失は当初予想から 113 百万円改善する見込みとなりました。

注 1. 「消費換算数量（累計）」とは、医療施設で実施された BNCT 実施症例数に、当社が独自で算定しております 1 治療当たりの平均消費袋数を乗じて得た値を販売規格である箱数に換算して、BNCT 治療に使われた当社製品の出来高を推計したものであります。

注 2. 上記の業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上